

# 皮膚悪性腫瘍に対する抗がん剤治療における悪心・嘔吐の調査とアプレピタントによる悪心・嘔吐の改善効果の観察研究

1. 対象患者: 悪性黒色腫に対してDAV Feron療法、DAC Tam療法を実施する患者

メルケル細胞癌に対してCDDP+VP-16療法を実施する患者

1. 対象患者数: 38例(悪性黒色腫:35例、メルケル細胞癌:3例)

2. 目的: 悪心・嘔吐の改善効果、QOLの変化

3. 観察・検査スケジュール

治療日数		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
月日		/	/	/	/	/	/	/
採血ポイント(投与前)		○	○		○			○
抗がん剤治療日								
吐き気止めのお薬	イメドカプセル	125mg	80mg	80mg				
	カイトリル注							
	デカドロン錠	12mg	8mg	8mg				
吐き気の程度	吐き気は全くなかった					○		
	もとほとんど同じ程度食べられた 吐き気はあったものの食事はいつ				○			
	吐き気のため食事が減ったもの の栄養状態は悪くなかった		○	○				
	吐き気のため食事がとれず、栄養 状態が悪化したため点滴栄養など が必要であった	○						
おう吐	1日におう吐した回数	1回	0回	0回	0回	0回	回	回
食事摂取量	食事は普段と変わらない				○	○		
	普段よりやや落ちる		○	○				
	普段の量と比べて半分くらい	○						
	まったく食べられない							

4. 評価項目

悪心・嘔吐に関するアンケート調査

血中サブスタンスPの測定

担当・連絡先: 種村<sup>3</sup> 篤